不登校の子どもを持つ親の会　ホープ＆ライフ　公開企画講演会

『不登校を生きる』

文科省の調査によると、2017 年度の不登校児童生徒数は 14 万人を超え、ここ数年、増加傾向にあります。不登校になった子どもたちをどう理解し、見守り、支援していけば良いのでしょうか？

「不登校は小さなひきこもりであって、自分と自分の対話をする時間」とおっしゃる精神科医の高岡　健さんを今回お招きして、専門的な立場からお話をしていただきます。不登校のお子さんを持つ保護者の方、ご家族、教育機関・支援機関関係者の方、その他ご関心のある方などどなたでもご参加いただけます。この機会にぜひご来場ください。

【日　時】 2019 年 10 月 26 日（土） 14:00～16:20

【会　場】 かけはし都筑　多目的研修室

（横浜市都筑区社会福祉協議会）
横浜市都筑区江田東４－１０－３
港北ニュータウンまちづくり館内
横浜市営地下鉄「センター南」駅から徒歩 8 分

【講　師】 高岡　健　氏　（精神科医）

【参加費】 1000 円

写真提供:全国不登校新聞社

【申込方法】

①こくちーずの HP より申込　（右記 QR コード、またはホープ＆ライフの HP より）
②メールでお申込　oyanokaihopelife@gmail.com
その他お問合せ先　TEL　080-6621-1483　（ナカムラ）

申込先（こくちーず）

【主　催】 不登校の子どもを持つ親の会　ホープ＆ライフ

【講師プロフィール】

高岡　健　氏

1953 年生まれ。　精神科医。　岐阜大学医学部卒。　岐阜赤十字病院精神科部長などを経て、現在、岐阜県立希望ヶ丘こども医療福祉センター児童精神科部長。発達精神医学研究所所長。日本児童青年精神医学会理事。雑誌「精神医療」（編集＝「精神医療」編集委員会、発行批評社）編集委員をつとめる。

著書に、『引きこもりを恐れず』（ウェイツ）、
『やさしい発達障害論』『続・やさしい発達障害論』（以上、批評社）、
『不登校・ひきこもりを生きる』（青灯社）
『いかにして抹殺の〈思想〉は引き寄せられたか』（ヘウレーカ）など多数。

【会場案内】

かけはし都筑多目的研修室

（横浜市都筑区社会福祉協議会）
横浜市都筑区江田東４－１０－３
　港北ニュータウンまちづくり館内

【ホープ＆ライフについて】

ホープ＆ライフは不登校の子どもを持つ親の会として、横浜市都筑区を中心に 2016 年 9 月から月 1 回の例会を開催しています。子どもが不登校になるという親としてもどうしたらよいかわからない中で、周囲の理解が得られず、孤立しひとりで悩んでしまうことも少なくありません。子どもの不登校のきっかけや状況はさまざまですが、同じような体験をしている保護者同士が互いに励まし合い、情報を交換し合う、横のつながりの場として集まっています。
月１回土曜日の午後に、横浜都筑地区センターを主な会場として例会を開催しています。
参加ご希望の方は、ホームページに予定を載せていますので、日時をご確認の上、どうぞご参加ください。（参加費おひとり１回 200 円）

ホームページ　http://hopeandlife.org/
E メール　oyanokaihopelife@gmail.com
お問合せ先　080-6621-1483　（ナカムラ）

ホープ＆ライフホームページ